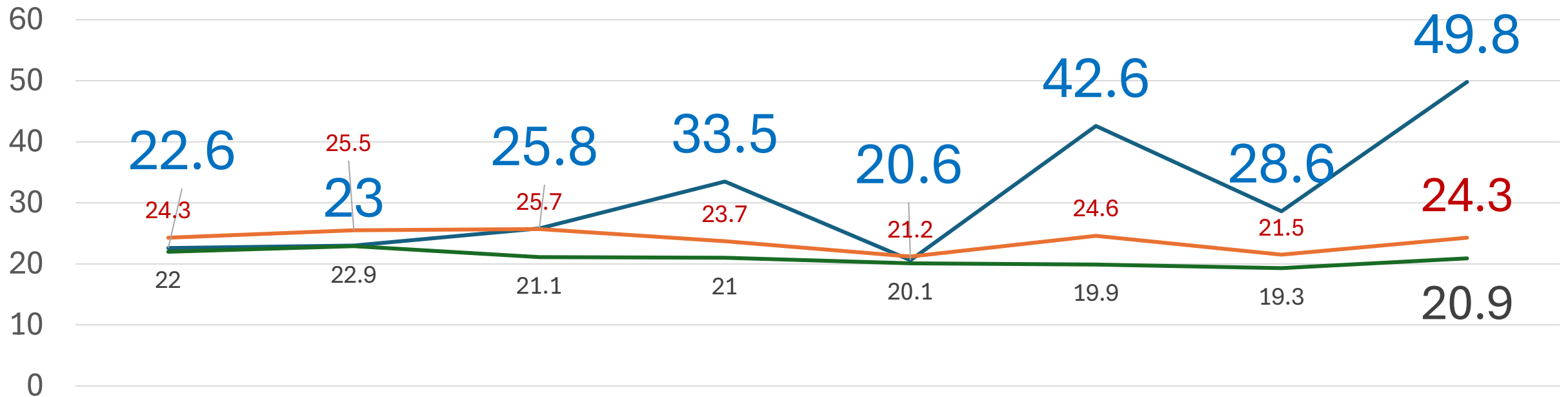


宮古島市の死産数増加の現状と
増加原因について
助産師の「久しぶりの元気な赤ちゃん」とのコメントは、本当だった！

宮古島地下水研究会 友利直樹（医学博士） 2025年7月3日

死産率は、県及び全国平均は横ばいであるが、宮古島市では、2018年から階段状に増加！2023年度は、県平均、全国平均の2倍以上！増加原因は？

死産（人工＋自然）率（‰）の年次推移と比較



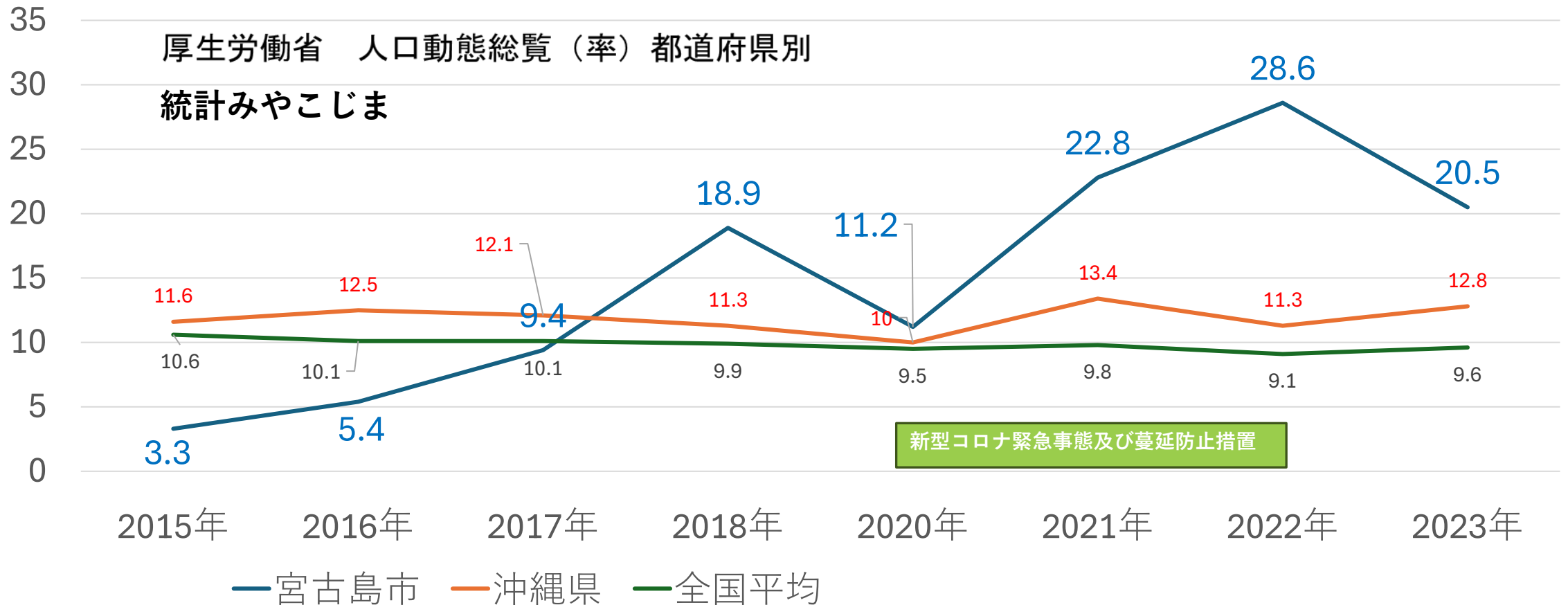
2015年 2016年 2017年 2018年 2020年 2021年 2022年 2023年

— 宮古島市 — 沖縄県 — 全国平均

厚生労働省 人口動態総覧（率）都道府県別
統計みやこじま

自然死産率は、全国9%台と横ばい。沖縄県は11～13%と全国トップ3。
宮古島市は、2018年から平均20%とこれまでの3倍以上の増加。
2021年から2023年迄の平均は、県及び全国平均の2倍以上！

自然死産率（‰）の年次推移と比較

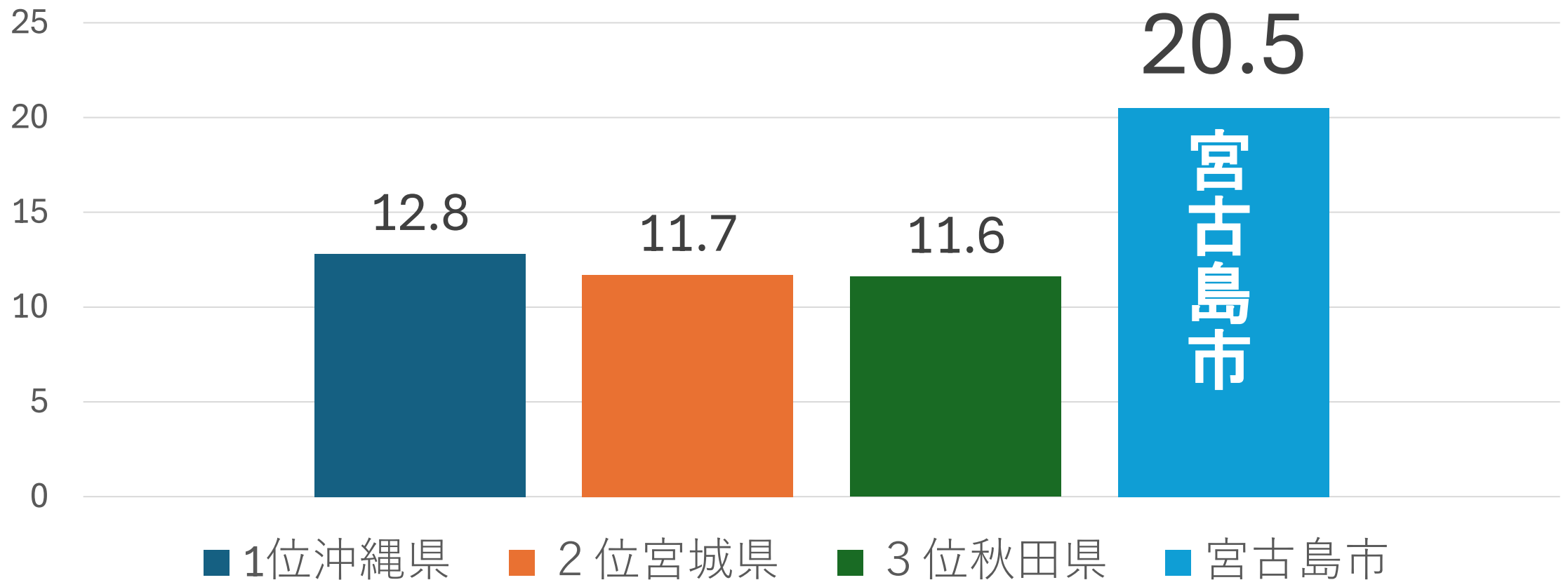


2023年度自然死産率は、宮古島市は、全国一！

沖縄県を含め他府県も、新型コロナウイルス感染は落ち着いておりの年間変動は少ない。それにもかかわらず、トップ3の約2倍も増加！ 宮古島市特有の外的環境因子の関与？

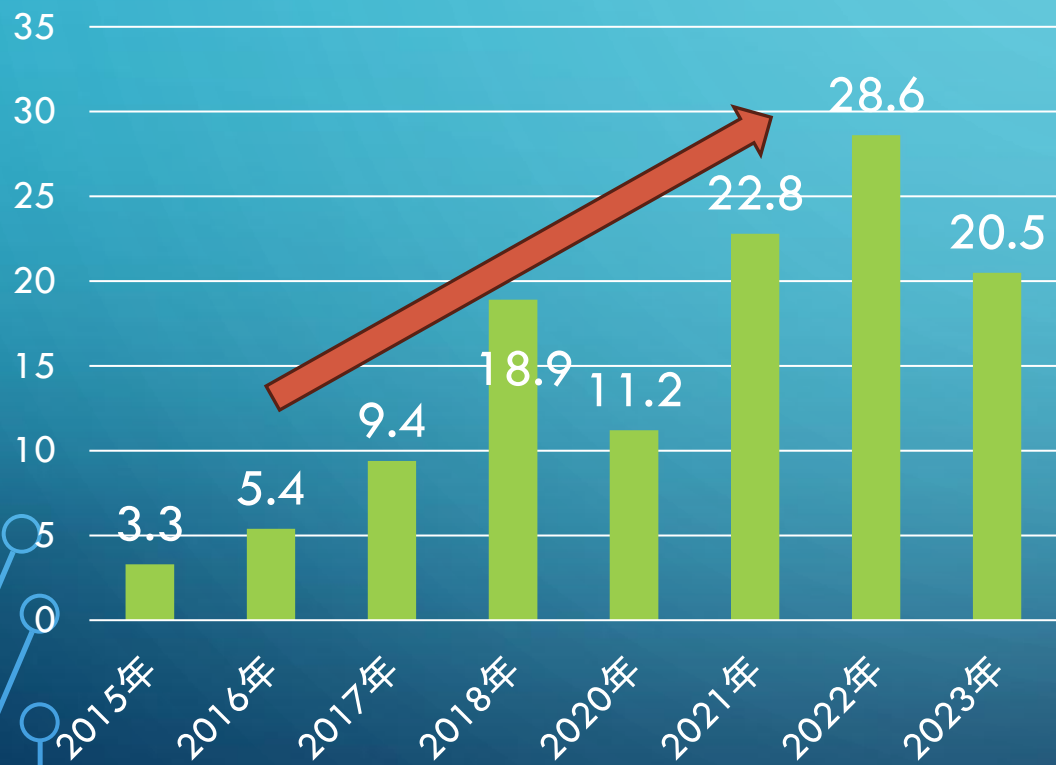
厚生労働省 人口動態総覧（率）都道府県別 統計みやこじま

2023年度自然死産率全国トップ3 宮古島市の比較



宮古島市の自然死産率増加とネオニコチノイド系農薬 年間供給量の増加が相関！ これは、強力な状況証拠！

宮古島市の自然死産率(‰)



ネオニコチノイド系農薬 年間供給量(トン)

クロチアニジン年間供給量15トン

JAおきなわ宮古地区事業本部資料



一般的自然死産の原因

○胎児側の原因

染色体異常:

先天性形態異常:心臓や脳などの重度の奇形(無脳症、心奇形など)

胎児水腫:胎児感染症:

○母体側の原因

妊娠高血圧症候群:自己免疫疾患:

胎盤・臍帯の異常

常位胎盤早期剥離:

臍帯過捻転・真結節:

臍帯巻絡:

○原因不明

・実は約25~40%の死産は原因が特定できないとされています。

ネオニコチノイド暴露と自然流産（死産）との関連を示す研究

1. ネオニコチノイド系農薬チアクロプリド暴露によりラットの流産（死産）を増加させた。

生殖能力に重要なホルモンの分泌を阻害し、プロスタグランジンやオキシトシン等の中絶誘発ホルモン分泌増加、酸化物質と抗酸化物質のバランスの乱れは、妊娠中のラットの中絶のリスクを高める。

Effect of thiacloprid, a neonicotinoid pesticide, on rat reproductive system: Pregnancy hormone disruption and abortion trends; A. N. Ahmadabadi et.al. Pesticide Biochemistry and Physiology

Vol.205 Nov. 2024

2. ネオニコチノイド系農薬イミダクロプリドは、実験動物に於いて、生殖毒性物質として作用

イミダクロプリドの生殖毒性には、ホルモンレベルの変化、生殖機能低下、自然流産、死産、催奇形性障害が含まれる。これらの障害は、代謝中のフリーラジカルの生成により引き起こされ、酸化ストレスによる組織の損傷に繋がる。

Imidacloprid as Reproductive Toxicant in Laboratory Animals Sood Purna et. al.

Pesticide Research Journal Vol. 33 2021

Limnology 水から環境を考える

山室 真澄 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

2023-11-30

秋田市は自然死産率全国 1 位

秋田市水道水から3000ng/Lを超えるネオニコチノイド(ジノテフラン)が検出されたことを紹介しました。結果、下記動画で平先生が紹介しているように、「自然死産率1位」なんてことになっているのでしょうか。

[秋田の環境を考えるつどい 003 平久美子先生講演会 後編](#)

【5番目のネオニコ暴露による健康影響】 自然死産率増加

「久しぶりの元気な出産だった。」という助産師の印象は、
データの裏付けがあった。自然死産率は、全国一高い！

宮古島市の自然死産率は、2018年から平均20%（2%）とこれまでの
3倍以上の増加。2021年から2023年迄の平均値は、県及び
全国平均の2倍以上であり、ネオニコチノイド系農薬、特にクロチアニジン
の年間供給量増加と正の相関を認める。これは強力な状況証拠です。

死産の原因は多数があるが、従来の原因のみでは、宮古島市での

2018年以降の急激な増加は、説明できない。水道水に含まれる

クロチアニジンやジノテフラン等複数農薬成分への妊婦暴露による自然死産率
増加も考慮する必要がある。

水道水ネオニコチノイド暴露により、

1. 女性では、内分泌かく乱作用による自然死産率増加による出生数急減への関与の可能性。
2. 男性では、内分泌かく乱作用や腸内細菌叢多様性低下、生殖毒性による生殖機能低下による出生数急減への関与の可能性

宮古島市の急激な出生数減少に関与している因子の1つである可能性が高い！